

<対話での主な意見>

■全ての参加者にお伺いしたい内容(対象 1~3)

本市が目指す「(仮称)泉佐野・EXPO EXPO 事業」事業について

【視点 1】

◆「協定自治体との連動による連携事業の発展」の実現に向けて、「まるかじり JAPAN」事業が万博期間中に各自治体の魅力発信と連携して実現するための万博や泉佐野 EXPO らしい象徴的なイベントとなるための可能性、アイデアについてお聞かせください。

- ・協定自治体の観光 PR
- ・和食の名店等の出店
- ・期間を通しての魅力発信ブースや展示会場などを展開する企画
- ・週単位、月単位で開催する重点イベントの企画
- ・大阪・関西万博会場と泉佐野会場とを連携させた企画
- ・「まるかじり JAPAN」に因んだ全国各地の名産品等造形物の制作
- ・近未来の体験型のコンテンツを集め、展示や映像等の催しを実施する
- ・定期開催を実施、話題化を狙う。日本全国各自治体の産品が集まっていることをマイクロな視点(テーマ性や未来性)での万博として発信方法を工夫し、連動性と第 1-2 パビリオンとしての見え方を創出する
- ・グルメイベントの開催
- ・周辺ホテルとの連携
- ・フードエリアの設置
- ・伝統芸能や踊りを鑑賞できるステージエリアの設置
- ・トークセッション
- ・イベント開催に必要な電源・水道などのインフラ整備が必要

【視点 2】

◆「花火を織り交ぜた賑わいづくりの創出」の実現に向けて、前泊・後泊のための目的地化へと成す、万博や泉佐野 EXPO らしい象徴的なイベントとなるための可能性、アイデアについてお聞かせください。

- ・定期的な花火の打ち上げ・デジタルコンテンツを活用する
- ・夜市の開催
- ・期間中、花火(小規模)とスペシャルデーに実施する花火(大規模)を組み合わせる
- ・造形物をライトアップしたナイトイベントの実施
- ・花火に対する付加価値の演出。ドローンを活用
- ・花火実施は周辺道路の一時的な混雑にも配慮した定期短時間の開催が好ましいと考える
- ・テーマを決めてりんくうタウンエリア駅周辺エリアすべてについて賑わいづくりをする

- ・インバウンド向けの賑わいづくりをする
- ・花火を外で見たくなる仕掛けをつくる
- ・全国の花火師とのタイアップ
- ・短時間での花火大会を開催
- ・大型映像と音楽を連動したミュージック花火を実施し、ナイトタイムエコノミーによる観光客の集客を図る

【視点 3】

◆「連携イベントによる賑わいづくりの創出」の実現に向けて、りんくうタウン駅北側の賑わいづくりの可能性、アイデアについてお聞かせください。

- ・南側商業施設から北側への人流を促進する施策としてのイベントを実施
- ・買う・食べる・飲むことができるエリアをつくり、野外文化音楽堂周辺に賑わいを創出する
- ・日本の盆踊りや夜店を出し、海外旅行者にも参加してもらう
- ・協定自治体にも参加を呼びかけ、国内・国際交流の拠点として賑わいを創出する
- ・グルメフェスなど飲食を伴うフェスの開催
- ・りんくうタウン駅北側はホテルや温浴施設・スポーツ施設などが点在しているが、駅からの導線上に人流ができる商業施設や公共施設が少ない。導線を作ることを考えたい
- ・季節ごとに祭りを催し、一貫した演出を取り入れて連動性を図る
- ・泉佐野市を訪れる旅行者等の出会いの場を創出する
- ・夜市の開催
- ・朝マルシェの開催
- ・大規模ロックフェスや有料音楽イベントなど、その他多数のコンテンツを活用する

◆民間事業者の柔軟かつ魅力的なアイデアや効率的な運営を導入するための可能性、アイデアについてお聞かせください。

- ・事業費について「委託業務」として民間事業者に委託する方が望ましいと考える(事業収入がある場合は、その全額または一部を泉佐野市に納付する)
- ・万博会場と泉佐野 EXPO 会場を結ぶツアーバスの発着点として、府営りんくう公園の第2駐車場を活用する
- ・スマートフォン1台で完結する仕組みを作る(イベントへの参加、料金などの支払い、会場の情報取得、泉佐野 EXPO 事業の情報取得、会場内のイベントを1台で行う)
- ・万博会場へのツアーバス発着を関空・りんくうタウンなどから行き来させる等をして周辺駐車場や宿泊ホテルの収益化に貢献できないかと考える
- ・地域オリジナル電子マネーを利用して、利用者にプッシュ型の告知やクーポン配布を行い滞在者や市民の利便性を高め、再来訪を促す

- ・泉佐野 EXPO を効率的に運営するためには、コンテンツ毎の公共施設の活用方法を1つの事業者任せすることで、万博終了後も有効に活用できる案が生まれることが期待できる
- ・シェアサイクルの活用
- ・キャッシュレス決済の運用促進
- ・開催に伴う事務局と「まるかじり JAPAN」事業の開催準備事務局を同一事業者が準備作業することで効率的かつコストダウンも同時に行うことができると考える

◆**その他「泉佐野 EXPO」事業に対する提案、期待することや、実施にあたってのご意見、ご提案がありましたらご記入ください。**

- ・万博開催期間と同時期に連日での事業実施は困難と思われる。集客力が低下するおそれがあり、春季、夏季、秋季のように、時期を絞って実施する(それぞれのテーマを掲げて実施する)
- ・各自治体の事情を勘案し、分散型の協力を求める
- ・イヌナキン、ゆるナキンの活用
- ・花火について、迫力の乏しい花火だけでは集客の力に限界がある。相応の費用が必要であると考え
- ・インバウンドをアウトレットモールへ誘引。近隣宿泊施設とも連携し、にぎわい演出を行いたい
- ・防災アトラクションやヒーローショーを織り込んだ演出
- ・開催にあたって各種申請手続きに時間がかかること等様々な企業からの協力が必要。イベント主催者がある一定の期間、民地や公園などが使用できるよう配慮を求めたい
- ・空港周辺〜りんくうタウンエリアにおける滞在の充足感を補う視点では「飲食」の担うところは大きいのではないかと考える
- ・りんくうタウンエリアと泉佐野駅周辺の分断されがちな距離感を埋める施策も検討したい
- ・泉佐野市を訪れたらどんな体験ができるのかが伝わる「泉佐野 EXPO」になることに期待したい
- ・ナイトタイムエコノミーの発掘・創出
- ・「まるかじり JAPAN」事業の開催場所が芝生広場で行われた場合、面積に制限が出るため有料イベントの開催等が難しくなる。会場レイアウトについては多種多様なイベントに対応できるものが望ましいと考える

「泉佐野 EXPO」運営事業者等にお伺いしたい内容(対象 1 のみ)

◆今後検討される事業内容について、本市の財源だけではない事業実施手法を視野に入れた資金調達方法を導入するための可能性、アイデアについてお聞かせください。

- ・ 事業協賛金
- ・ 広告収入
- ・ クラウドファンディングの活用(有料音楽フェス、花火大会など)
- ・ 有料席の設置(花火等)
- ・ ブース出店にかかわる出展料
- ・ 飲食事業については大型テント・コンテナハウス・給排水・電気設備などのインフラの充足を以て使用料徴収を検討したい
- ・ 万博を契機にサイネージや広報 PR の充足。広告料金を収入とする
- ・ 外国語対応として有料のインフォメーションセンターやゲストハウスを設置するなどして、インバウンド向けにコンシェルジュの機能を持ち、万博会場とのサービスの相違によるイメージ UP で集客を図る
- ・ 万博の先進性や未来性との連動を感じさせる技術導入を泉佐野 EXPO で計画し、スマートシティ関連事業などの補助金、助成金の導入を推進する
- ・ 地元事業者やホテルなどとの連携、スポンサー及び運用協力などを検討
- ・ 他の都道府県や市町村の多ジャンルの PR を行う代わりに協賛してもらう
- ・ あらゆるコンテンツの場を、実証実験の場として提供する
- ・ 有料イベントの開催、有料席の設置。参加者負担による収益化を図る
- ・ 協賛営業による収益確保
- ・ 有料チケット販売
- ・ LED 大型ビジョンでの協賛スポンサーの獲得

◆「泉佐野 EXPO」事業を運営する際の、理想的な事業規模・サービス内容や事業採算性を向上するためのアイデア等についてお聞かせください。

- ・ 既存施設を利用するとともに、仮設テント・コンテナ等を活用する
- ・ 雨天時の影響を考慮できる場所が必要。府営りんくう公園の第 2 駐車場や総合休憩所の活用も視野に入れる
- ・ 一事業者の受注によるリスク回避のため、春季、夏季、秋季の区分で委託先事業者を募集する
- ・ 全体予算に対する経費を抑えながら事業を実施。資金面で余裕を持った運営が必要であると考え
- ・ 大都市圏(天王寺、神戸など)で行われたフェスを参考に事業を展開したい
- ・ 出展料の徴収

- ・オリンピック選手村のイメージで、すべての催事に活用できる汎用性の高いイベントスペースを設けることで、インフラやハード面を共有し、ソフト面だけを入れ替える運用でコストを削減する
- ・周辺商業施設等事業者との連携